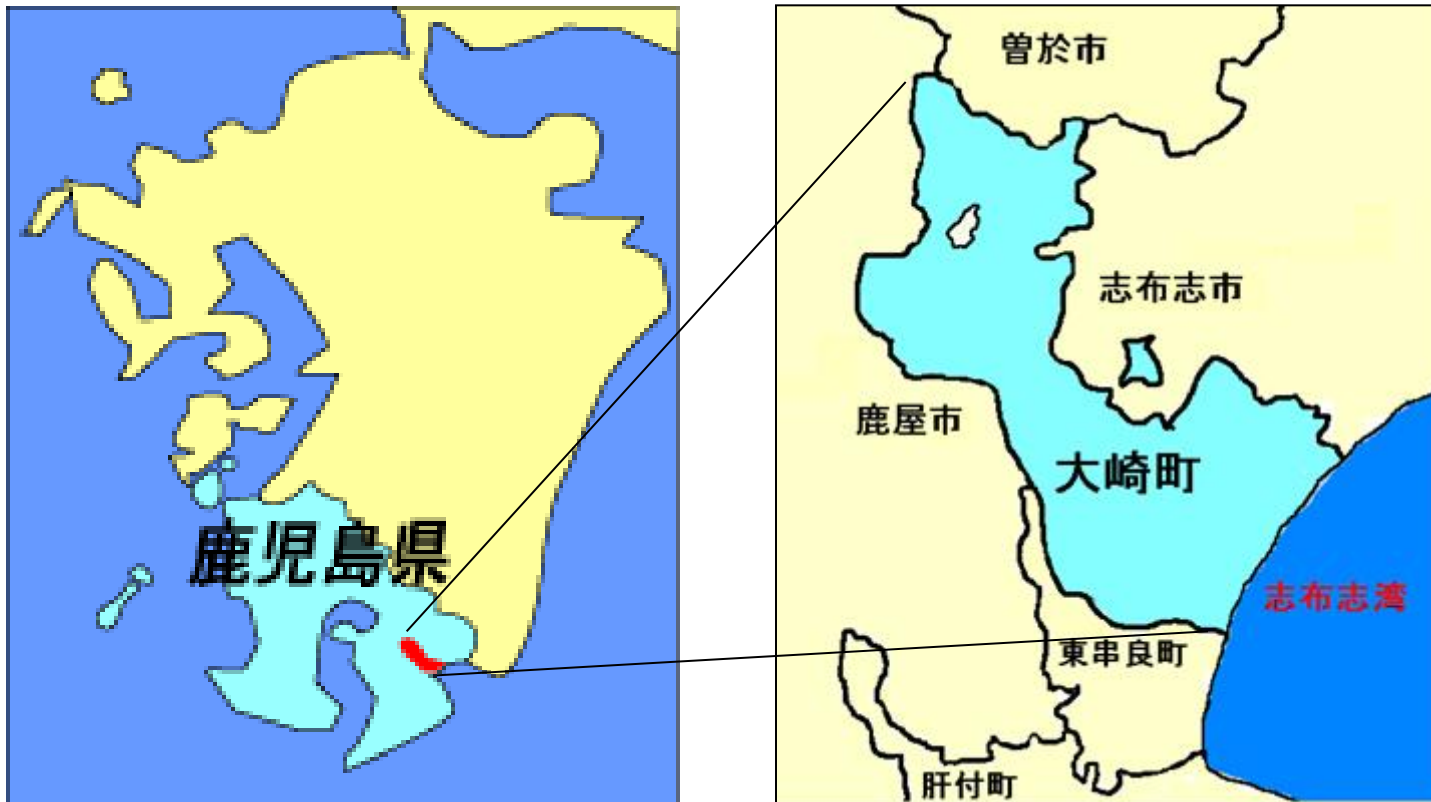


**混ぜればゴミ、
分ければ資源！**

鹿児島県大崎町住民環境課

大崎町の位置・人口・世帯数



人口 13,933人 世帯数 6,902世帯
(平成27年3月31日現在)

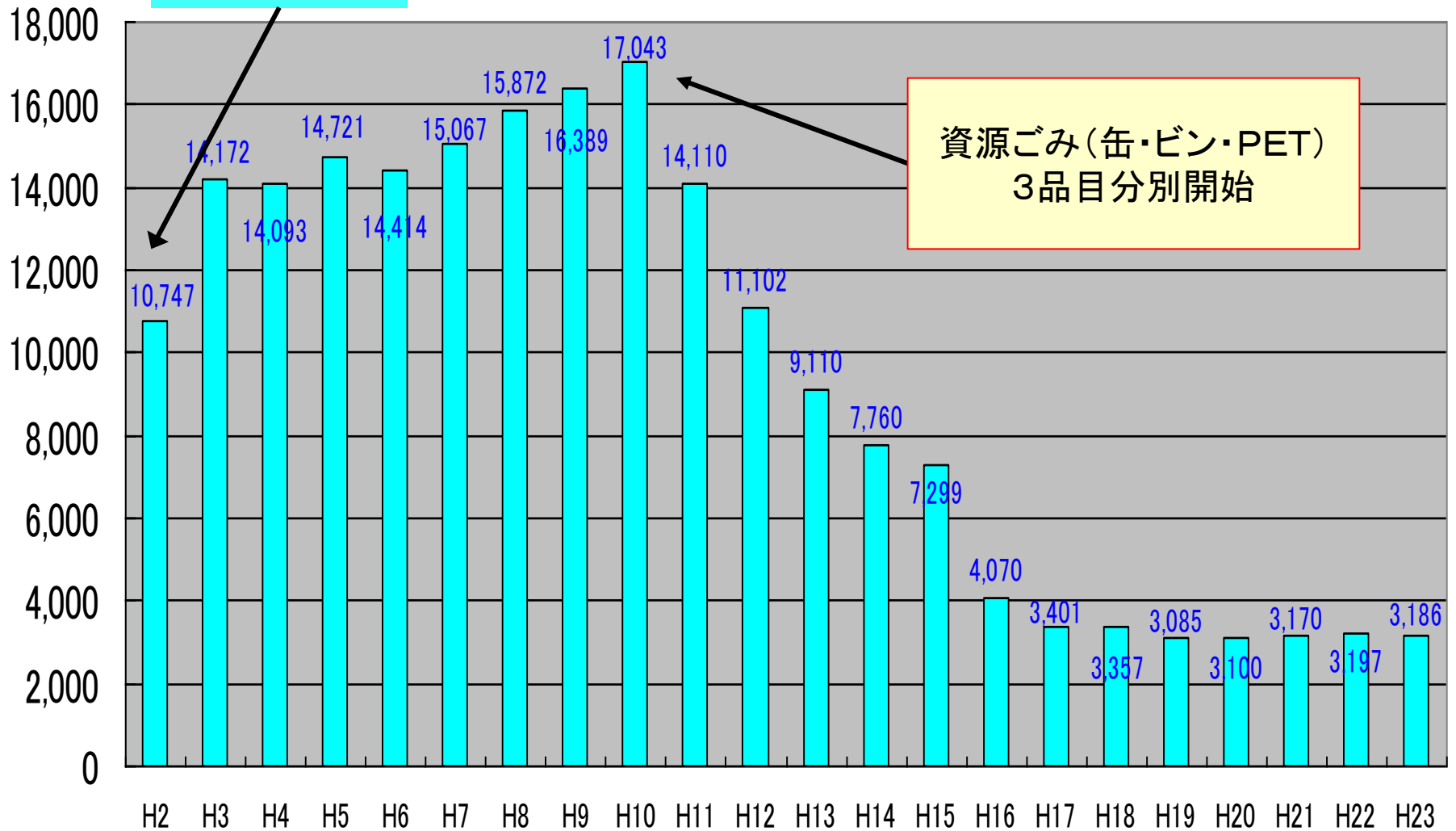
ごみ分別のきっかけ 焼却施設が存在しないまち



清掃センターへの埋立処分量の推移(t) 大崎町+志布志市

清掃センター
埋立開始

資源ごみ(缶・ビン・PET)
3品目分別開始



清掃センター(埋立処分場)の**残余年数が逼迫** 計画期間の平成16年まで持たない！

対策: 3つの選択肢

1 焼却炉の建設

⇒建設費・維持費の問題

2 新たな埋立処分場の建設

⇒周辺住民の反対

3 既存の埋立処分場の延命化

⇒分別ルールの策定・住民への説明

家庭ごみの正しい分け方と正しい出し方

決められた時間までに指定袋で、名前を書き、決められたものを、町内の決められた収集場に出しましょう。大崎町・大崎町衛生自治会

資源ごみの日(祝日も収集) 毎月1回第 [] 回目の木曜日・収集時間は [] に指定収集場へ

詳しくは、ごみ分別の手引きを見てね!

平成25年度 改訂版
見やすい場所に貼りましょう!
大崎町役場 1a476-1111
そりサイクルセンター 1a471-6050
清掃センター 1a475-2328

分別の区分	①空き缶 (スチール缶・アルミ缶) 缶つぶさないで 一箇の袋に入れます	②生きピン リチウム電池	③茶色ピン	④無色 透明ピン	⑤その他の ピン	⑥ペット ボトル つぶさないで 指定袋で	⑦ダンボール 裏面に「資源」の マークを貼ります	⑧新聞紙 ・チラシ	⑨雑誌 ・雑紙	⑩コピー 用紙	⑪シュレッ ダー紙	⑫紙パック	⑬紙箱 ・包装紙 (裏面にリサイクル)	⑭その他の紙製 容器・包装紙・袋 (裏面にリサイクル)
	ピンはラベルはそのまま、フタは必ず外す 中身の残らないよう使いきり、軽く水洗いする						雨天の場合は収集場で紙が濡れないようにして出します							
イメージ														
指定袋	指定袋	金製製のフタは純金属のコンテナへ、プラ製のフタはプラスチック類へ	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋	指定袋
イメージ														
イメージ														
イメージ														

分別の区分	⑮蛍光灯 類	⑯乾電池 等	⑰古着 ・布類	⑱食用油	⑳プラスチック類 大きなものは別途収集場に出します 分別マークが貼られている 全てのプラスチック類	㉑スプレー缶 カセットボンベ	㉒金属製フタ 鍋、やかん等	㉓割りばし・車等 (竹製・木製)	㉔陶器類 (陶器が 土の製品)	㉕小型家電 コンテナ又は指定袋を推奨する 電子機器類等、資源回収用 コンテナに入るサイズのもの	㉖生ごみ 「指定収集場」 毎週 曜日 (8時～17時)	㉗一般ごみ (資源ごみ・生ごみ以外) 毎週 曜日 (8時～17時)	㉘粗大ごみ 指定袋及びコンテナに 入らないものが対象
イメージ													
イメージ													
イメージ													
イメージ													
イメージ													

混ぜればごみ、分ければ資源!
事業系ごみ(一般廃棄物)の分別も家庭系と同じです。出し方は収集運搬業者に依頼します。

町が引き取らないごみ
①処理困難なごみと事業系廃棄物など
②電化製品
③エアコン、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機、冷暖房機、エアコン(注:エアコンは廃棄物に引取
り依頼、業者からリサイクルセンターへ回収可)

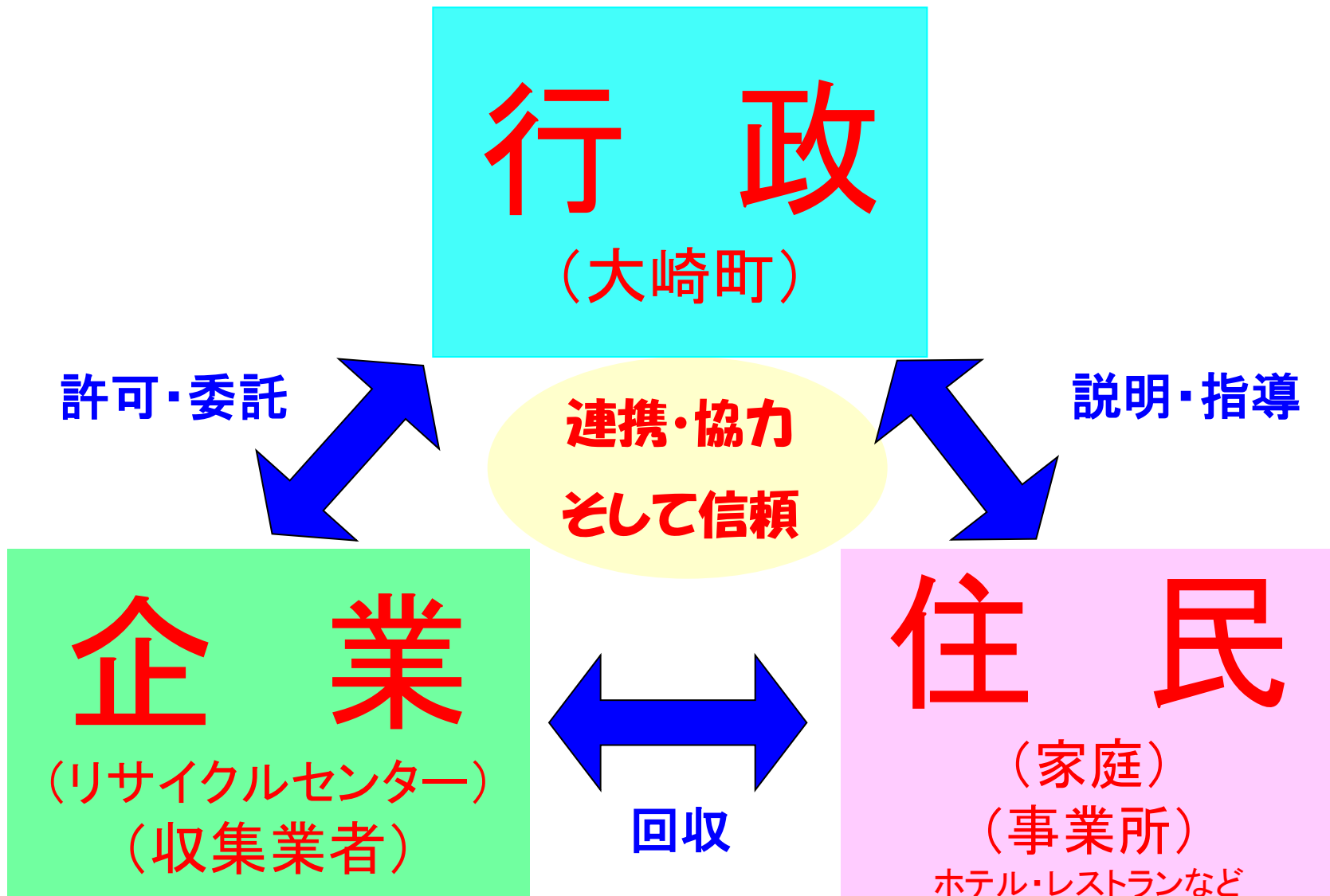
事業系廃棄物・事業系廃棄物
建物の改修等に伴う廃材(ごみ)と産業用乾電池・製造
事業系のごみ
産業用資材(廃棄物処理業者に依頼)
医薬品類(廃棄物処理業者に依頼)
危険物類
化学薬品、劇毒・劇薬・劇毒・劇薬・劇毒・劇薬

その他
タイヤ・バイク・農機具・廃油・塗料・産業・火器・コンクリート
ブロック・パナソニック・ガスボンベ・ガスボンベ・ガスボンベ
①購入先が専門業者に依頼して下さい

お問い合わせ
電話番号 477-2455
8時～17時まで
土曜日は休みです。
代表例以外のご家庭用粗大ごみに
ついては、問い合わせ下さい

申し込み
清掃センター
電話番号 475-2328
8時30分～18時まで
日曜・祝日は休みです。
ごみの多い場合と、重量が重い
場合は直接持ち込んで下さい

大崎町の取り組みは・・・



行政の役割①

- システム（法律）の整備
 - 行政はゴミを回収しなければならない
 - 住民はゴミを分別して出さなければならない
 - 行政が許可した企業でなければごみ収集はできない
- 分別品目を決める
- ゴミ出し日、時間、場所、収集ルートを決める
- 収集したゴミの出口（最終処分先）確保
- 企業と住民の役割づくり及び指導
- 地域リーダーを決めて指導

行政の役割②

地域リーダーへの指導



分別を開始する時、大崎町は150の地域で説明を行いました。
今では年1回、150の地域リーダーへの研修会を行っています。

行政の役割③

学校での指導



イベントでの指導



住民の役割①

まず家庭・事業所で

きれいにする
分別する



住民の役割②

分別したゴミを出す

家庭ゴミは収集所へ



事業所ゴミは収集業者が回収



住民の役割③

ボランティア清掃活動

自分の町は
自分できれいにする



企業の役割①

行政の委託・事業所の負担によるゴミの回収



企業の役割②

ゴミの検査



企業の役割③

生ゴミの堆肥化



生ゴミ・草木を回収所に排出



収集業者が回収



大崎有機工場



生ごみを破砕



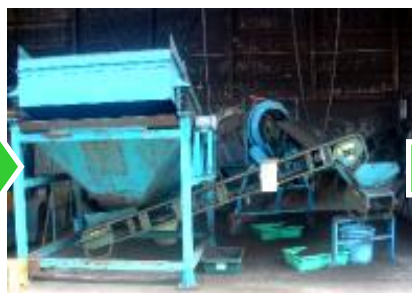
スパンに投入



切返し作業



水分を調整しながら切返しを繰り返す



異物を除去



製品



製品袋詰め



完熟堆肥「環ちゃん」

「菜の花エコプロジェクト」イメージ図

ごみ収集車の燃料へ
BDF(ディーゼルエンジン代替燃料)



菜の花畑へ



「ヤッタネ! 菜ッタネ!」



生ごみ完熟堆肥「おかえり環ちゃん」



資源の循環



家庭の食卓

廃食油回収



草木剪定枝



大崎有機工場へ



生ごみ回収



菜の花エコ石けん「そおぶ」

平成20年2月10日
「ストップ温暖化大作戦」 全国大会
(環境甲子園)

鹿児島県代表 大崎町の取り組み

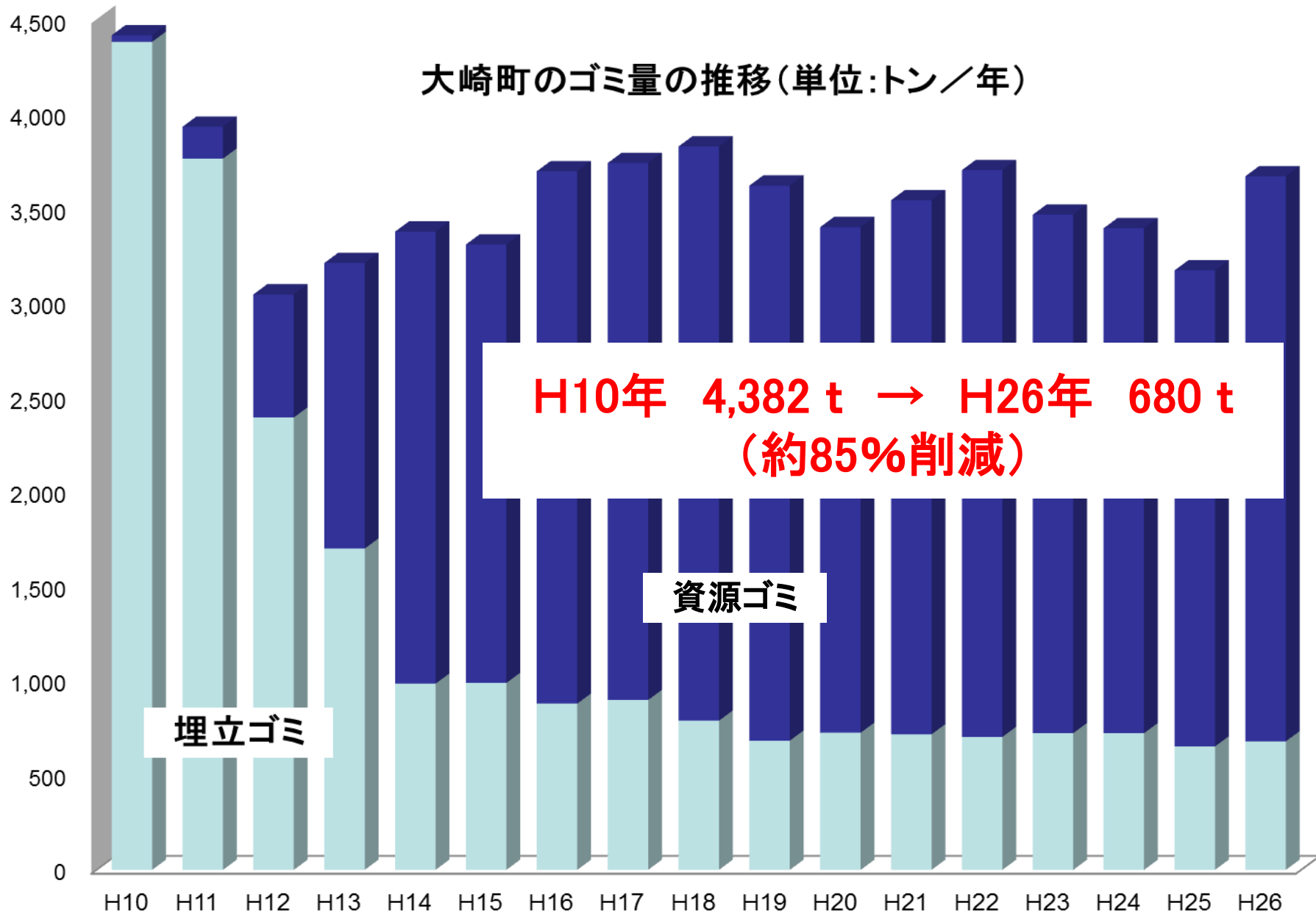
「知恵の環 ひとの環 資源の環

ストップ温暖化プロジェクト」が

特別賞

「地域循環賞」 受賞

大崎町のゴミ量の推移(単位:トン/年)



リサイクルの取組 上位10市町村

リサイクル率TOP10

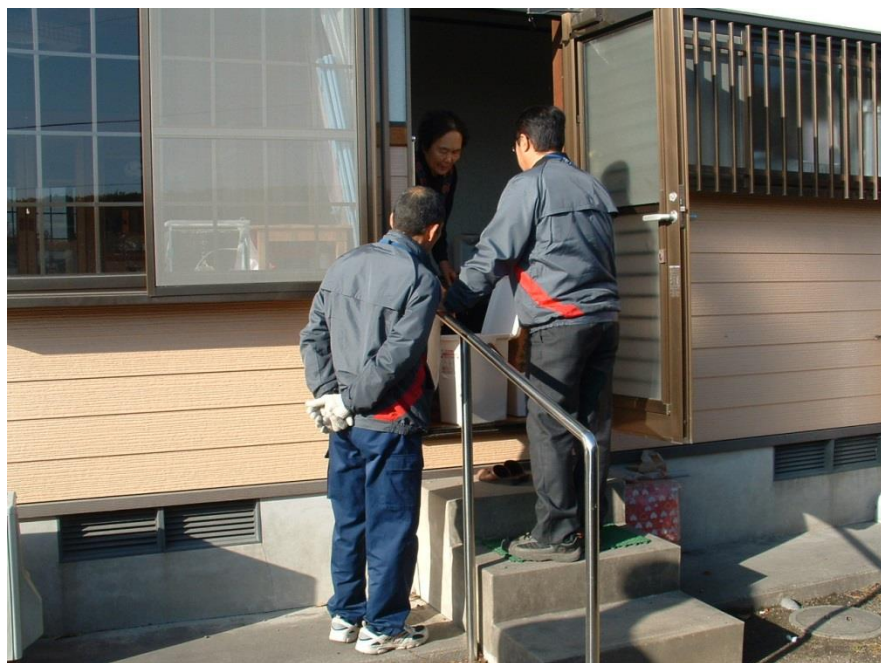
環境省：一般廃棄物処理事業実態調査（平成25年度）

人口10万人未満			人口10万人以上50万人未満			人口50万人以上		
1.	鹿児島県	大崎町	1.	東京都	小金井市	1.	千葉県	千葉市
		80.0 %			49.8 %			32.3 %
2.	鹿児島県	志布志市	2.	神奈川県	鎌倉市	2.	新潟県	新潟市
		76.8 %			48.4 %			27.2 %
3.	徳島県	上勝町	3.	岡山県	倉敷市	3.	東京都	八王子市
		76.4 %			47.1 %			26.4 %
4.	福岡県	大木町	4.	埼玉県	加須市	4.	愛知県	名古屋市
		63.6 %			40.7 %			25.7 %
5.	北海道	小平町	5.	東京都	調布市	5.	神奈川県	横浜市
		63.5 %			38.9 %			25.7 %
6.	北海道	本別町	6.	東京都	府中市	6.	福岡県	北九州市
		60.9 %			38.8 %			24.5 %
7.	山形県	鮭川村	7.	東京都	国分寺市	7.	埼玉県	川口市
		59.8 %			38.7 %			23.9 %
8.	北海道	興部町	8.	東京都	東村山市	8.	北海道	札幌市
		59.8 %			36.0 %			23.1 %
9.	北海道	鹿追町	9.	東京都	西東京市	9.	静岡県	浜松市
		58.7 %			35.6 %			21.3 %
10.	北海道	陸別町	10.	東京都	三鷹市	10.	神奈川県	相模原市
		58.0 %			34.6 %			21.0 %

項 目	全国平均	大 崎 町		
	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
1人1日当たりのごみ排出量	958g	653g	643g	612g
ごみのリサイクル率	20.6%	79.5%	79.2%	80.0%
一般廃棄物最終処分場の 残余年数	19.3年	50～年		
1人当たりごみ処理事業経費	14,400円	6,498円	7,140円	7,064円
資源ごみ売却益金		10,332,961円	6,621,600円	8,918,021円

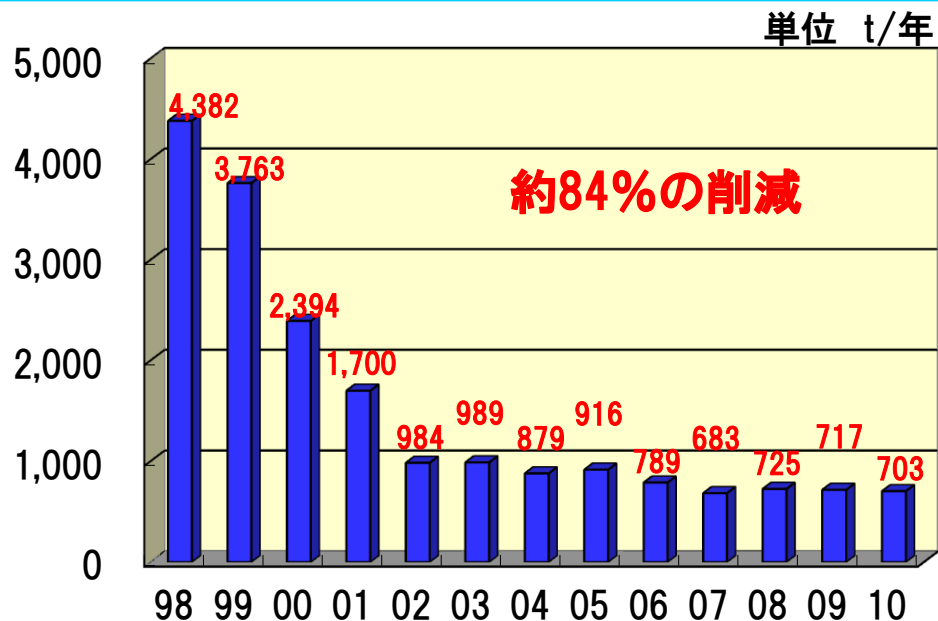
ゴミ出し困難者対策事業

親族，近隣の方などの協力を得られず，家庭ごみを収集所に排出することが困難な一人暮らしの高齢者等が対象



分別のメリット①

埋立処分場の延命化



建設当初

H 2年(1990年)
~H16年(2004年)

H24年(2012年)現在

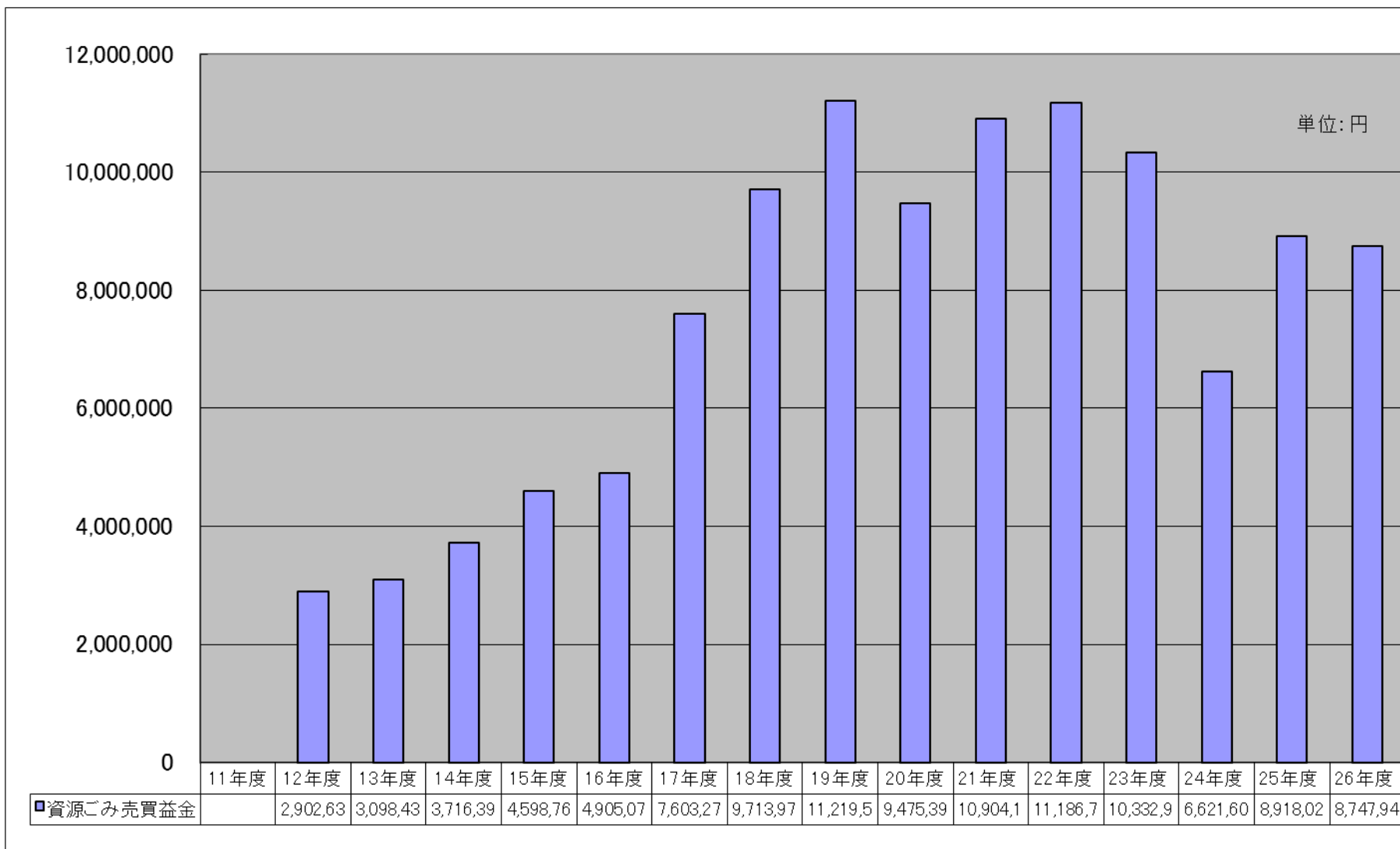
残り40~50年は大丈夫!!

きれい 臭くない
というメリットも!



分別のメリット②

収入の増加



分別のメリット③

雇用の増加



大崎町にあるリサイクルセンターでは、近隣自治体も合わせて100,000人分の資源ゴミを取り扱っていて、40人程度の雇用が生まれています。

○● JICA草の根技術協力事業 ●○

インドネシア共和国 デポック市への環境指導

平成24～26年度に**廃棄物の減量化**を目的としたゴミの分別排出・収集・運搬・処理のシステムづくりについて指導しました

大崎町の
埋立処分場



デポック市の
埋立処分場



○● JICA草の根技術協力事業 ●○

インドネシア デポック市への環境指導



大崎町のごみ減量化の経緯等

平成 2年 7月:曾於南部清掃センター埋立開始

平成10年 9月:資源ごみ3品目分別開始(缶・ビン・PET)

平成11年 8月:そおりサイクルセンター完成(民間施設)

平成12年 6月:資源ごみ16品目分別収集を開始

平成13年 4月:生ごみモデル地区回収を開始(180戸) 資源分別収集で雑金属などを追加し24品目に

平成13年10月:菜種の播種を実施、菜の花エコに着手

平成14年 4月:生ごみ分別と割り箸を追加 草木・剪定くずと生ごみ堆肥化,有機工場(民間施設)稼動

平成14年 6月:全事業所の生ごみ分別を開始

平成14年 7月:埋立処分場が35年の延命

平成16年 7月:有機物の埋立処分を全面禁止

平成17年 7月:陶器類の収集を追加し28品目に

平成18年 4月:粗大ごみのステーション回収を廃止 戸別回収へ

平成23年10月:高齢者等へのごみ出しサポート事業開始

平成24年 8月:新聞+チラシ,雑誌+雑古紙を統合し26品目に

平成24年 8月:JICA草の根技術協力事業にてインドネシア国デポック市への環境指導開始(3年間)

平成25年 4月:使用済み小型家電の分別収集を開始し27品目に

平成27年 8月:JICA草の根技術協力事業にてインドネシア国バリ州への環境指導開始(2年間)

**混ぜればゴミ、
分ければ資源！**

**これからもご協力を
お願いいたします!!**

ご清聴ありがとうございました

<メモ>
